Creative Enzymes®

ストレプトコッカス属由来のストレプトキナーゼ、組換え型

Cat. No. NATE-1630

Lot. No. (See product label)

はじめに

□明	ストレプトキナーゼ（SK）は、いくつかの種のストレプトコッカスによって分泌される酵素であり、ヒトプラスミノーゲンに結合して活性化することができます。SKは、心筋梗塞（心臓発作）や肺塞栓症のいくつかのケースで効果的かつ安価な血栓溶解□として使用されます。ストレプトキナーゼはフィブリノリティクスとして知られる□剤群に属し、ストレプトキナーゼとヒトプラスミノーゲンの複合体は、結合の切断を通じて他の未結合プラスミノーゲンを加水分解的に活性化し、プラスミンを生成することができます。ストレプトキナーゼには、α（残基1–150）、β（残基151–287）、およびγ（残基288–414）と呼ばれる3つのドメインがあります。各ドメインはプラスミノーゲンに結合しますが、いずれも独立してプラスミノーゲンを活性化することはできません。
別名	SK; EC 3.4.99.0; 9002-01-1

製品情報

由来	E.Coli
形態	無菌フィルター処理された白色の凍結乾燥粉末。
製剤化	PBSでpH 7.4の0.2μmフィルターで濾過された濃縮（1mg/ml）溶液から凍結乾燥されました。
純度	97.0%以上は以下によって決定されます： (a) RP-HPLCによる分析。 (b) SDS-PAGEによる分析。
溶解度	凍結乾燥したストレプトキナーゼは、無菌の18M-cm H2Oで100μg/ml以上に再構成することが推□され、その後、他の水溶液にさらに希釈することができます。

保管・発送情報

安定性	凍結乾燥ストレプトキナーゼは室温で3週間安定していますが、-18°C以下で乾燥した状態で保存する必要があります。再構成後のストレプトキナーゼは4°Cで2□7日間保存し、将来の使用のためには-18°C以下で保存してください。凍結-解凍サイクルを防いでください。